

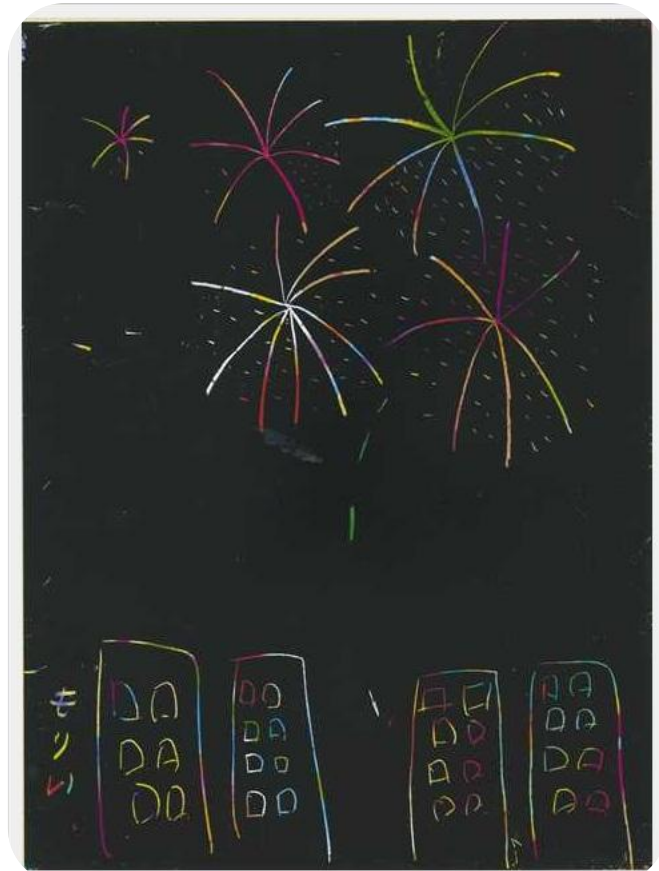
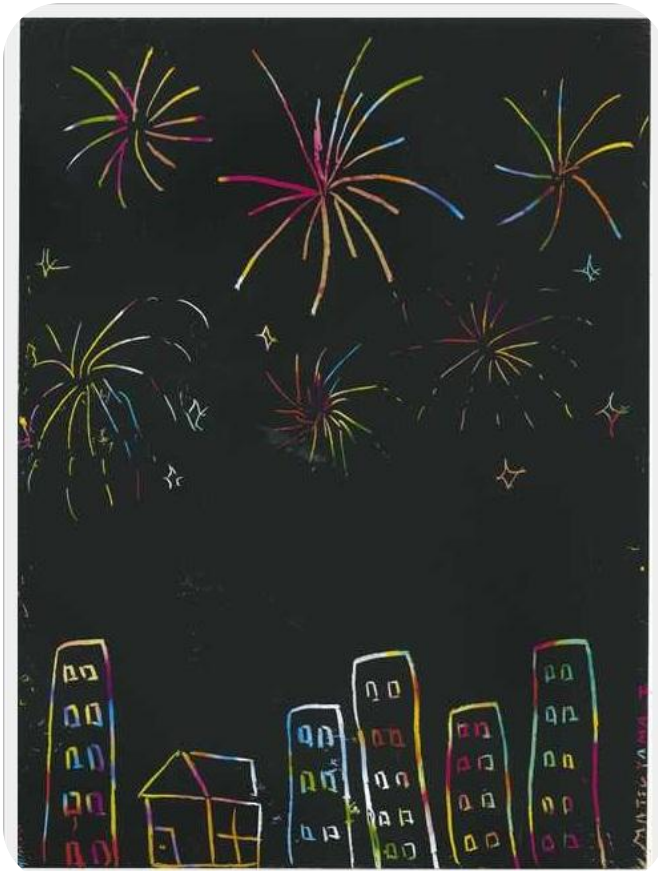
メンバー、ボランティア、学生
みんな仲間!

けやきと仲間 めーる



こころの病と闘っている人々と千葉大学生や周囲地域との協働の会 地域活動支援センター「けやきと仲間」

平成 24 年 9 月 1 日(第 89 号)



作 M.Tさん

作 M.Sさん

夕涼み会



今回は8月1日に夕涼み会として行われた、榎さんの素晴らしいコンサートの鑑賞会と、PAT 稲毛四季こよみでの夕食会の報告です。

コンサートの会場は千葉市花の美術館のモネサロン前です。ボランティアの榎さんがギターだけでなく美声も聞かせて下さりました。高橋知子さんや呉民好さんが協力して下さい「赤い屋根の家」という歌も素晴らしかったです。榎さんは凄く澄んだ声で進行役もつとめいらっしやいました。

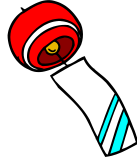


さて夕食会ですが、白米はなく五穀米や玄米がありました。もうひとつの種類のお米もありました。お店の人には開店の17時の前から冷房の利いた部屋で休ませていただきました。ピアノの演奏もあり、聖子ちゃんやサザンの歌などを弾いて下さいました。

夕涼み会の幹事の井上さんは精力的に一生懸命やして下さいました。僕も補助の身分でしたが、僕なりに考えて例えば3万円分の両替を持って行ったりしました。無事終わったのでほっとしました。参加者は総勢12名でした。

そのあと有志でカラオケしました。渋い歌とかかっこいい歌とか英語の歌を歌ったりしました。4名でした。最高でした。

N.K



園芸茶話会

8月6日、園芸療法のプログラムの時間を利用して、園芸茶話会を日頃お世話になっているボランティア日高さんの快気祝いも兼ねて行いました。



当日は曇り空からのまさかの雨。畑脇のプール入口で雨宿り……雨は止まず、場所を事務所3階に移しての茶話会スタート。

メンバー5名、ボランティア2名、スタッフ1名の8名で、冷たく冷えたお茶で「乾杯」しました。テーブルにはボランティアが持って来て下さった黄色いスイカ、おにぎり、ゴーヤの佃煮、お菓子、メンバー手作りの大根の漬物、家族の方が差し入れて下さった高級ゼリー、そうそう畑で採れたトマトも。おいしい食べ物に囲まれて楽しいひと時を過ごしました。最後にはマリンバの演奏まで…。

平和なゆったりとした月曜の午前でした。

心に茨を持つ少年



詩

夏休み

ざらざらと太陽
来たな！・夏
君が麦藁帽子で笑う
白いワンピース
汗をかいて
ぐしよぐしよになった
シャツのまま
僕は海へ飛び込む
焼けたアスファルトに
たたきつける雨
蒸気が立って
日が暮れていく
ふたり息を潜めて
線香花火を見つめている
どっかーん！
打ちあがる五尺玉

残暑収まらず

時計の動きが遅い
ようやく三時
明日は雨と予報
心はやるし暑さは引かぬ
夏バテみたいで
精神エネルギーも枯渇した
寄る辺ない頼りなさ
ふと思う
これからやつてくるのは
絶望だろうか
希望だろうか
絶望には慣れていくけど
希望が来たらどう喜べばいいか
言葉に出来ないような
不安がある
明日になれば分かる
何もかも
今までそうだったし
これからもそうだ

川 柳

明け方の近所のあかり感動だ

戻ったねオレたちだけの不眠症

両親が嫌がるタバコやめられず

禁煙を主治医はいつも母に言う

つらい過去忘れたいから触れないで

差し入れの鯛プ子美味くとまらない

